

宝小学校だより

ななさと

宝小学校学校だより
NO10

平成28年9月5日(月)
文責 小俣 一夫

元気で楽しい学校生活を!

34日間の夏休みが、大きなケガや病気の人もなく無事に終わり、子どもたちの優しい笑顔と元気一杯の声が学校に戻ってきました。子どもたちにとって夏休みはどんな時間になったのでしょうか。終わってみると「あっ」という間の休みだったのではないかと思います。また、お父さん、お母さん方になると「やっと終わった!」と感じる方も多いのではないかと思います。・・・?

さて、82日間の2学期が始まりました。始業式の中で、5年生の代表が夏休みの思い出と2学期への抱負について話してくれました。時間を計画的に使い、とても有意義な夏休みを過ごした5年生の二人でした。



6年生 小学校最後の水泳の授業です!

今年の夏は、心が燃え上がってとても暑い夏でした。

ぼくは少年野球をやっている、夏休みはほぼ毎日練習しました。6年生が夏で引退したので、ぼくが新チームのキャプテンになりました。大きな声を出して、チームをまとめ、練習をいっぱいして強いチームにしていきたいです。

2学期に楽しみなことは、運動会と東京遠足と稲刈りです。運動会の「組み体操」では、みんなと力を合わせ、係活動ではみんなのために頑張りたいです。また、勉強では、算数を一生懸命に取り組み、進んで授業中発表したいと思います。

5年 金塚 龍嵐

今年度、児童会の書記をやっています。児童会執行部の一員として、中央委員会や児童総会、ロング集会の企画や運営に取り組みました。全校のみんなから、たくさんの意見が出たり、みんなが楽しそうに取り組んだりしているのを見て、とてもうれしく感じ、やりがいのある仕事だと思いました。



夏休み中も運動会に向けて、テーマやマスコットをいかたり、みんなでアイデアを出し合い、開会式や閉会式の内容を考えたりしました。大変なこともあります、全校のみんなが楽しめ、思い出に残る運動会のために頑張りたいと思います。ぼくは組み体操が楽しみです。友だちを支えるのが大変そうだけど、本番に向けてしっかりと練習をし5・6年生で力を合わせて成功させたいと思います。

5年 山本 真菜斗

また、始業式には全校の子どもたちに次のようなことを考え、実行してほしいと話しました。

3つのワークに取り組もう!

- 1. チームワーク = 力を合わせよう
- 2. フットワーク = すばやく行動しよう
- 3. ヘッドワーク = よく考えよう

人を鍛え、成長させてくれるのはチーム(複数の人が所属する集団)です。子どもたちの周りにはチームというものは、小さいものでは、「班」や「家庭」「集団登下校の班」というようなものがあります。大きな集団としては「学年」や「全校」「バスケットや野球・サッカー」というような集団もあります。

そのチームの中で、自分の役割を確実に果たし、集団としての高まりを目指してほしいと思います。その

結果、集団が一つの目標を達成できた時には、必然的にその集団に所属する個人も確実に高まっているものと確信します。

ここで大切な「ワーク」ってなんですか?

例えば今年の夏の話題と言ったら何だったでしょうか?そうです。ブラジルで開催された「リオオリンピック」です。中でも、私が興味を引かれたのは、銀メダルに輝いた陸上の「男子400mリレー」でした。4人の自己ベストタイムとリレーでのタイムです。

順	日本チーム 《銀メダル》	ジャマイカチーム 《金メダル》
1走	山縣 亮太 選手 10秒05	アサファ・パウエル 9秒83
2走	飯塚 翔太 選手 10秒22	ヨハン・ブレイク 9秒75
3走	桐生 祥秀 選手 10秒01	ニケル・アシュミード 9秒98
4走	ケンブリッジ飛鳥 選手 10秒10	ウサイン・ボルト 9秒58
4人の自己ベストタイムの合計 オリンピックでのタイム		4人の自己ベストタイムの合計 オリンピックでのタイム
40秒38 37秒60		39秒14 37秒27
4人合計-オリンピックタイム 2秒78		4人合計-オリンピックタイム 1秒87

レース後のインタビューで、山縣選手は「バトンパスが自分たちの勝敗のかぎを握っていたので、仲間を信じて、自分のやるべきことをやるだけでした。」と話していました。

上記の日本とジャマイカの個人タイムの合計からもわかるように、速い選手が4人そろえば、必ず強いチームができるのではないということです。速いチームはそこに必ずチームワークが存在するのです。しっかりと目標を持った意識の高い選手が、勝ったり負けたりや戦いの繰り返しの練習を重ね、信頼を深め、4年間の中で最強のチームができあがっていったのでしょうか。その結果、「ミスのない確実でロスが少ないバトンパス(91/100秒)」が成功したのだと思います。

何か一つのことに取り組むと、そこに課題が見つかります。その課題は、集団として解決すべき目標となります。そのための第一歩として、まずは、自分を知ることから始めてもいいかもしれません。自分は今何が足りないのか、何が上手なのか?

2学期は、まずは「運動会」から始まります。学年というチームを高める絶好のチャンスです。チームの高まりの後には、一人一人の(個)の高まりが必ず付いてきます。個が自己の目標の実現に向けて、今できることを精一杯に頑張らしましょう。そうすれば、必ず、学年のまとまりは、より強いものになることだと思います。最終的に全校の皆さん一人一人が、今よりもっと自分のことを好きになってほしい願っています。

- ・自分のことが好きな人は、友だちにも優しくできます。
- ・自分のことが好きな人は、人の気持ちもわかります。
- ・自分のことが好きな人は、ちょっとしたことで、へこたれません。
- ・自分のことが好きな人は、落ち着いて行動できます。



5年 整然と整列



2年生の仲
良し2人組み

上田ゆきみ先生

早く元気になって下さい!

4月から5年生の担任として頑張ってくれていました「上田ゆきみ」先生が、7月から病気治療と療養のために、お休みをしております。来年3月まで、お休みします。



5年担任 山縣敬子 先生

上田先生には、しっかりと治療に専念していただき、一日も早い学校復帰をお願いしています。なお、その間、上田先生の代わりには「山縣敬子(やまがたけいこ)」先生が入って下さることになりました。宜しくお願いいたします。

新しいALTの先生

キャサリン先生 (KATHERINE)

2学期から、これまで指導して下さった3名のALTの先生が新しい先生に代わりました。

宝小には、MACNAIR KATHERINE MICHAELA 先生が来て(マクネアー キャサリン ミケイラ)います。

キャサリン先生はミシガン州ロチェスターヒルズの出身ですが、以前に鳥取県で3年間の英語講師を勤めた経験もあり、日本語はたいへん上手で、ネイティブの英語に触れ、子どもたちは、楽しく学習に取り組んでいます。



キャサリン先生の授業